

健森応援団通信

平成 28 年 2 月 13 日
健森応援団事務局
第 2 号

「哲西栗の生産地」を目指して



先日の椎茸植菌作業では、雪が随所に残る中でたくさんの方に御参加をいただきありがとうございました。作業後のたき火を囲んだ昼食会では、和やかな雰囲気に包まれて笑顔での会話もはずみ、とても良い交流ができたと思っています

さて、健森応援団の第 3 回体験活動を畜産・果樹班で行うことにしました。この班は約 1000 羽の養鶏と 3 頭の和牛飼育及び果樹栽培と地元企業からの委託作業が作業種目になっています。今後としては作業収入の増加を図り利用者への授産工賃（給料）の支給額を増やしたいと考えています。

今回はその一環として哲西栗の生産地をめざして苗の植え付けを計画しています。この哲西栗は昭和 9 年、哲西町上神代の羽場鶴三氏が高知県で栽培されていた、中国栗品種の「傍土 360 号」を地元である哲西町に持ち帰り、栽培に成功したことからはじまったとされています。現在では全国で唯一、新見市哲西地区のみで栽培されていますが、生産量が極めて少ないため「幻の栗」とも呼ばれており、大粒で渋皮がむけやすく甘みが強いのが特徴になっています。

このように全国から需要がありながら生産農家の高齢化による労働力の低下により、ますます供給が難しくなっているという哲西栗生産組合からの声があり、健康の森学園が栽培して哲西栗生産組合に供給することにより、利用者の授産工賃支給額の向上とともに、地域おこしとなって新見市の発展につながればと考えています。

応援をよろしくお願いします。



岡山県健康の森学園
副学園長 真鍋 衛

椎茸の植菌 と 猪汁 in 健康の森

1 月 30 日（土）に『健森応援団』の体験活動「椎茸の植菌と豚汁 in 健康の森」を行いました。健森応援団員と林産家事生活班の利用者の方など 21 名が参加しました。遠くは、岡山市からの参加者もおられました。今回植菌したほだ木の中から、全農乾椎茸品評会で全国第 1 位 農林水産大臣賞を受賞する椎茸が生産されるかもしれませんね。



「入れ残しがないように。」
「たくさん、入れるなあ。」



「椎茸が採れる日が、楽しみです。」

障害者週間 理解啓発促進事業

12月3～9日の障害者週間は、障害者福祉への理解関心を高めると共に、障害者があらゆる活動に積極的に参加する意欲を高めようと障害者基本法によって定められたものです。本学園では、障害者週間に合わせ、本学園園生（障害者支援施設利用者、高等部生徒）が、地域の人たちと交流したり障害者について啓発を図ったりする活動を行いました。この取組には、健森応援団団員の方にも、参加を呼びかけました。

サンパーク新見では、本学園園生（障害者支援施設利用者、支援学校高等部生徒）が、冊子やポスターで本学園の取組を紹介したり、収穫物を販売したりしました。高等部生徒は、自分たちが製作した福祉製品の入った啓発物品250セットを買い物客の方々に配布しました。

高梁市役所では、高等部生徒が、自分たちが製作した廃油石鹸やハーブ製品などの販売をしました。また、フロア清掃の実演を行い、日々の学習の中で培った清掃の技術を市役所を訪れた方々や高梁市役所の方々に参観していただきました。

共生社会の実現に向けて、今後も取組を進めていきます。



健森応援団

平成28年2月13日現在

本年度の取組の概要

- 健森応援団団員数 30名
- 会計報告
 - 収入 150,000円（150口）
 - 支出 21,672円（郵便振込手数料、郵券代等）
 - 残金 128,328円
- 活動の実際
 - ① 第1回体験活動『椎茸狩り』
平成27年10月25日（日） 17名参加
 - ② 障害者週間街頭キャンペーン
平成27年12月 7日（月） サンパーク新見
平成27年12月 8日（火） 高梁市役所
 - ③ 第2回体験活動『椎茸の植菌』
平成28年 1月30日（土） 21名参加
 - ④ 第3回体験活動『哲西栗の苗の植え付け』（予定）
平成28年 3月19日（土）